

農業センター土づくり通信

第2号(発行:令和3年9月)【発行】旭川市農業センター

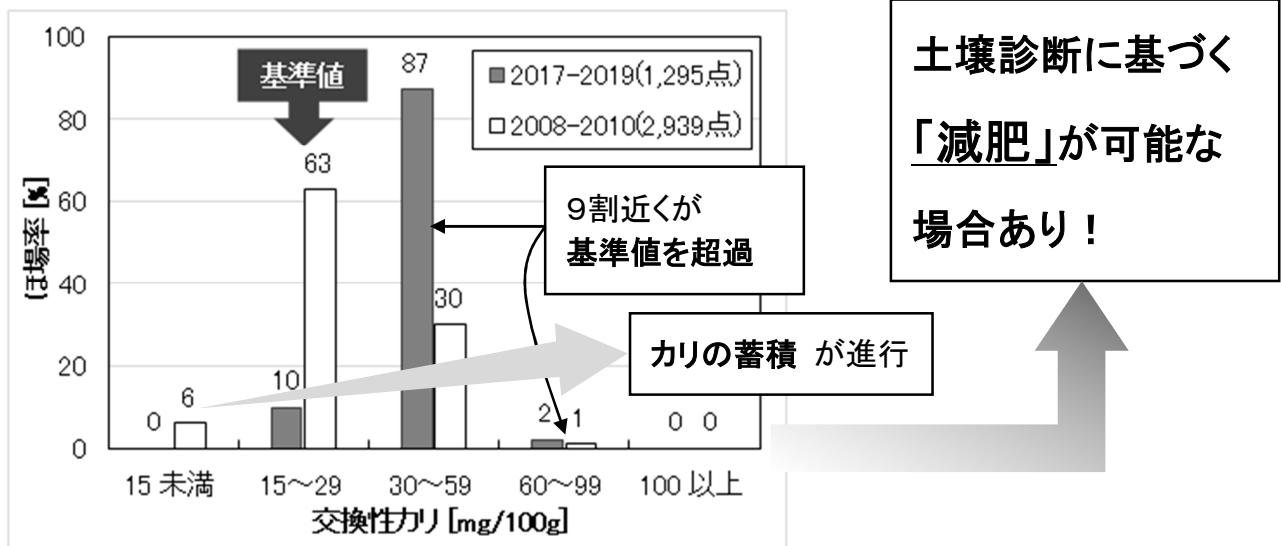
ご存じですか?「土壌診断」 ～ 土壌診断のススメ ～

「何年か前と比べて、作物の生育が悪くなってきたような気がする。」

「経験や勘で肥料や堆肥を入れているが、このやり方で本当によいのか？」

農業者の方々の中には、このように思ったことがある方いるのではないのでしょうか？
土壌診断は、「土の状態を見える化」し、対策を講じるための手段として、広く活用されています。
今号では、土壌診断の効果等の特集するとともに、利用案内についてお知らせします。

1 旭川市内 ほ場における土壌分析値の傾向 (例) 水田土壌の「交換性カリ」の傾向 (農業センターの分析結果から)



2 特に土壌診断を実施した方がよいほ場

- 今までに土壌診断を 実施したことの無いほ場
- 又は、数年以上の間、土壌診断を実施していないほ場
- 作物の生育が芳しくないほ場

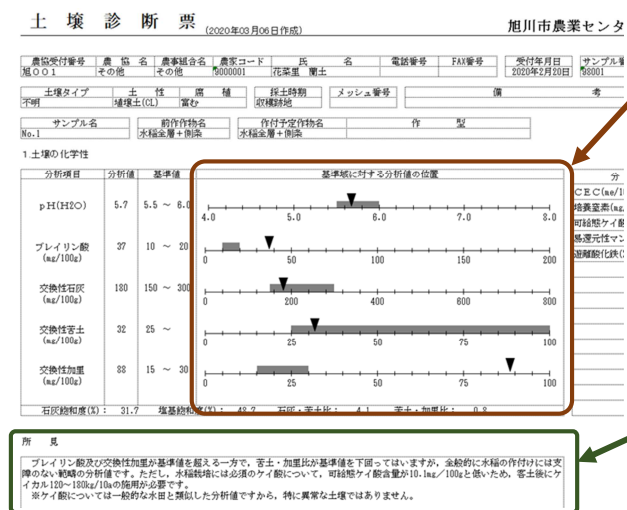
3 土壌診断の効果

- これまで手がけてきた「土づくり」の結果を数値として把握 できます。
- 併せて、肥料分の過不足などを診断し、施肥設計に基づく 対策の方向性 が分かります。
- 科学的根拠に基づく施肥対応により、収量や品質の安定化 に役立ちます。

4 農業センターの「土壌診断」の紹介

農業センター土壌診断推進事業において、農業者向けに発行している「土壌診断票」の特長を紹介します。

※ 下記の診断票は、主に農業者が農協を経由して分析を申請する場合の様式です。農業センターに直接申請される方については、下記とは異なる様式の診断票を交付します。



＜特長1＞ほ場状態を一目で把握できる
肥料成分等の基準値に対する過不足を、視覚的に把握することができます。

＜特長2＞施肥対応に役立つアドバイス
農業者の方については、現地の状況を把握している上川農業改良普及センターが、分析結果に基づく施肥対応を分かりやすくアドバイスします。

- 土壌診断の実施頻度は、**露地(3~4年に1回)・ハウス(毎年)**が目安とされていますが、大幅な減肥対応や有機物の多量施用等の状況に応じて、頻度を高める必要があります。
- 市内各農協の組合員の方は、土壌診断票の内容について、毎年1~3月頃に各地区の農協が開催する施肥相談会において、日頃の営農上の疑問等を含めて、普及員に直接相談することができます。
- なお、「**野菜・花き**」に係る相談は **農業センターでも対応可能**です。お気軽にお問い合わせください。

5 利用案内

(1) 分析手数料

オススメです！

- **総合分析(営農を想定した、化学性に関する総合的な分析)** 1,170 円
- **一般分析(家庭菜園を想定した、必要最小限の項目の分析)** 700 円

(2) 分析に要する期間

- 通常は2~3週間(ただし、10~3月の集中分析期間は施肥相談会の日程に合わせて実施)
- なお、至急の分析を希望される方は個別に対応が可能な場合がありますので、お問い合わせください。

(3) 申込先 (※ 10~3月の集中分析期間に限らず、一年中、随時受付しています。)

旭川市農業センター (所在地:旭川市神居町雨紛 Tel:61-0211)

※ **野菜・花きの栽培に関する相談・施肥指導等にも応じています。皆様の御利用をお待ちしています。**

※ 市内各農協の組合員の方は、各農協の資材・営農センター等の窓口でも受付しています。詳しくは、最寄りの農協の窓口にお尋ねください。